

# まち Topics トピックス

## お気軽にご利用ください

10月5日、マイタウン白河（本町）で、「赤ちゃんの駅」開所式が行われました。

赤ちゃんの駅は、授乳やおむつ替えなどができる広さ約4平方メートルのスペースで、内部にはベビーベッドとソファが置かれています。

市が子育て支援事業の一環として、中心市街地のイベントの際などにも、赤ちゃん連れの家族が気軽に参加できるように設置しました。



## はっけよーいのこった!

10月3日、琴平神社（東釜子）で、釜子区秋季祭礼が行われました。今年は、焼失した神社が再建され、新しい神社で、伝統の奉納相撲が披露されました。境内の土俵では、まわしを着けた惣代男性がカー杯ぶつかりあい、観客は歓声をあげていました。鈴木富美夫区長は、「3年ぶりに相撲ができたことは、地域の皆さんの協力のおかげです」と話していました。



## 中山義秀の足跡をたどる

10月6日、本市出身の芥川賞受賞作家中山義秀の生誕110周年を記念し、文学バスツアーが行われました。中山義秀顕彰会長の鈴木市長を団長に総勢34人が、義秀ゆかりの神奈川県鎌倉市を訪れ、菩提寺である「円覚寺・松嶺院」での墓参りや「鎌倉文学館」、「鶴岡八幡宮」などを巡りました。一行は、秋の鎌倉を満喫し、義秀を深く知る充実したツアーを楽しみました。



## 国指定史跡を語る

10月3日、文化センター（中田）で、小峰城跡・借宿廃寺跡・野地久保古墳の国史跡指定を記念した、講演会が開かれました。会では、県考古学顧問の鈴木啓氏が「白河関の実像に迫る」をテーマに、奈良大学文学部文化財学科の坂井秀弥教授は「白河の遺跡からみた日本の歴史」について講演し、参加者は白河の遺跡や歴史の話に興味深く耳を傾けていました。



公設市場での模擬セリの様子



利き酒コーナーの様子

## おいしい白河のお酒が集結

10月10日・11日、中町・大手町・マイタウン白河（本町）を会場に、「白河どまん中 食と職の市」が開催されました。今回は「地酒で乾杯」をテーマに、ふるまい酒やひねり餅の披露、利き酒コーナーなどが設けられました。人気ラーメン店5店舗による「五匠會」が開発した米粉ラーメンも提供され、米粉麺の食感を味わおうと行列ができました。また、マイタウン白河では、しらかわ広域ビジネスフェスタと県技能フェスティバルが同時開催され、イベントが盛りだくさんの2日間となりました。

今回の開催に合わせ、市公設地方卸売市場（五番町川原）では、10日に市場開放デーが行われ、2つの会場を結ぶシャトルバスの運行により、地酒やご当地グルメとともに市場でのサンマの詰め放題や模擬セリの体験など、それぞれ楽しむことができました。

## ふるさと「白河」を訪問

9月25日から26日まで、東京しらかわ会のふるさと訪問旅行が行われ、44人が参加しました。今回のふるさと旅行では、市内の食品製造工場を2か所見学しました。昼食で訪れた翠楽苑内には、会が設立20周年記念に植樹した「兼六園菊桜」があり、成長した木々の様子を鑑賞し、春には満開の桜の下で再度、ふるさと白河を訪問することを確認して、旅行を終えました。



## あったらいいな♪アイデア作品大集合

9月17日から24日まで、マイタウン白河で「第56回白河市発明展」が開催されました。

市内の小・中学校から135点の応募があり、15日に行われた審査会で市長賞など20点の入賞作品が決定しました。

発明展の会場には、たくさんの親子連れなどが訪れ、豊かなアイデアに富んだそれぞれの作品を熱心に見入っていました。